

# 柔軟モルタル

## 高可とう性タイル張付材 (ポリマーセメントモルタル)

荷 姿



20kg紙袋

カラー

白

灰

柔軟モルタルは、可とう性を実現する無機系の高性能な特殊樹脂を配合したセラミックタイル(陶磁器質タイル)張付用プレミックスポリマーセメントモルタルです。たわみの大きな接着体に対してもよく追従し、タイルの剥離・剥落を抑制します。

### 製品仕様

適用施工箇所(内外装)	適用仕上材(タイル・石材)	標準施工面積		
壁 面	厚さ7mm以下のモザイクタイル(セラミックタイル)	約5㎡(3mm厚)	約3㎡(5mm厚)	
木質合板床面	600角程度までのセラミック床タイル、天然大理石、人造大理石、御影石	約3㎡ (10mmクシ目)	約2㎡ (15mmクシ目)	約1.5㎡ (20mmクシ目)

※上表以外の適用につきましては、お問い合わせください。

※木質合板床面への施工について詳しくは「レイフ工法」カタログ、施工要領などをご参照ください。

適用 下 地	コンクリート、モルタル、押出成形セメント板、ALCパネル、無塗装サイディング、木質合板(内装に限る)
--------	--

※浴室には使用しないでください。

※床面への施工は内装の木質合板に限ります。

### 試験表

下記の試験結果は、試験方法によって定められた条件によって得られたデータであり、実際の現場での性能を保証しているものではありません。

#### (1) 性能試験

二瀬窯業(株) 試験室

試験項目 [単位]	試験結果	試験方法
保水性 [%]	88.1	JIS A 6916 付属書 タイル張付け用モルタルの試験方法
単位容積質量 [kg/ℓ]	1.62	
接着強さ [N/mm]	1.8	
標準時	1.5	
温冷繰返し10サイクル後	1.5	
長さ変化率 [%]	0.18	JIS A 1171
曲げ強さ [N/mm]	8.0	
圧縮強さ [N/mm]	25.4	

#### (3) タイル接着力(N/mm<sup>2</sup>)

下地	標準時	温冷繰返し10サイクル後
コンクリート	1.7	1.5
モルタル	1.9	2.1
押出成形セメント板	1.8	1.6
無塗装サイディング	1.4 <sup>(*)</sup>	1.0 <sup>(*)</sup>
ALCパネル	0.8 <sup>(*)</sup>	0.8 <sup>(*)</sup>
構造用合板	0.7	

※母材破断

日本建築仕上材工業会登録

登録番号 0404033

放散等級  
区分表示 F☆☆☆☆

問合せ先 <http://www.nsk-web.org/>

水濡れ厳禁

無石綿

業務用



二瀬窯業株式会社

Making quality premixed mortar through research and development

## 関連資材



(一社) 公共建築協会  
建築材料等評価名簿掲載材料  
吸水調整材 (モルタル用)  
**ユニレックス3**  
[18kg缶]  
塗布型吸水調整材  
(EVA系合成樹脂エマルジョン)



**シーラーA**  
[16kg缶、2kgPETボトル]  
水性アク止めシーラー  
(カチオン性アクリルエマルジョン)

## 施工方法

※壁面へのモザイクタイル張り施工手順

### 1. 下地の確認

- ・下地のクラックや浮きなどの不具合がないことを確認し、不具合部分はタイル張り前に適切な補修処置を行ってください。
- ・ALCパネルや押出成形セメント板などのワーキングジョイントのある下地は、全てのパネル間ジョイントをタイルが跨がないように、タイルの割り付けを行ってください。

### 2. 下地の清掃

- ・コンクリートやモルタルの表面にレイトンスやエフロレッセンスがある場合は、除去してください。
- ・モルタル下地の場合、金ゴテ押さえ仕上げであったり、木ゴテ仕上げでも表面にツヤのある滑らかな状態の場合は、ワイヤーブラシなどで目荒ししてください。
- ・コンクリート下地の場合、超高压水洗等の目荒しを行ってください。
- ・パネル下地は、表面にくずや粉じんが残らないように清掃してください。

### 3. 吸水調整

- ・吸水調整材ユニレックス3を上水道水で5倍に希釈したものを、ハケやローラーなどで下地に塗布してください。
- ・木質下地の場合は、アク止めを兼ねたシーラーAを上水道水で2倍に希釈して、2回塗布してください。1回目が完全に乾燥してから2回目を塗布してください。
- ・完全に乾燥した後、タイル張りを行ってください。

### 4. 柔軟モルタルの混練

- ・材料の割合に基づいて調合し、モルタル用かくはん機等の機械器具でダマが残らないように練り混ぜてください。
- ・練り混ぜ後は40分以内に使用してください。



### 5. タイル張り

- ・練り混ぜた柔軟モルタルを下地に一度こすり塗りし、重ね塗して所定の塗り厚に均してください。
- ・1回の塗り面積は、1人作業で2㎡以内、かつ気温20℃の場合で15分以内にタイルが張れる程度としてください。
- ・タイルを張り付けたら、たたき板や振動工具を用いて目地部にモルタルが盛り上がるように十分に叩き込んでください。
- ・目地修正はモルタルが軟らかいうちに行い、目地の余分なモルタルの除去は、完全に硬化する前に、タイルを動かさないように注意しながら行ってください。
- ・目地の不陸が大きいと、目地材の施工後に色むらの原因になることがあるためご注意ください。

### 6. 養生

- ・タイル張りから24時間程度は、直射日光や降雨などによる水濡れのないように保護してください。
- ・目地材の施工までは2日間以上養生してください。

## 注意事項

※本製品の仕様は予告なく変更する場合がありますので予めご了承ください。

1. 柔軟モルタルの保管は、屋内の湿気の少ない場所で、パレット等に載せて床から離してください。
2. 柔軟モルタルの品質保持期間は製造後約4ヶ月です。
3. 固まったものの使用は避けてください。
4. 気温が3℃以下及び3℃以下になると予想される場合は、施工は行わないでください。
5. 柔軟モルタルには練水、ユニレックス3の他、弊社指定する材料以外は混入しないでください。
6. 柔軟モルタルのお取扱いに際しては、適切な保護具(保護手袋、保護メガネ、防塵マスク等)を着用のうえ、適切な安全対策を実施してください。



柔軟モルタルは安全に正しくお使いください。



EMS  
JIS Q 14001  
ISO 14001  
JSAE522

MS  
CM001

ISO 14001取得企業

製品資料・SDS等は別途ご請求ください

20211223.23

プレミックスモルタルの総合開発メーカー  
**二瀬窯業株式会社**  
<http://www.futaseyogyo.co.jp/>

本社・工場 福岡県飯塚市横田669  
〒820-0044 tel:(0948)22-0447 fax(0948)29-0289

本社営業グループ (建築・土木・仕上材) 福岡県飯塚市横田669  
〒820-0044 tel:(0948)22-0447 fax(0948)29-0289

東京営業所 東京都港区芝2-27-8 マスマンビル2F  
〒105-0014 tel:(03)6453-6685 fax(03)6453-6686

関東工場 千葉県木更津市新港15-8  
〒292-0836 tel:(0438)30-7372 fax(0438)30-7472

名古屋営業所 愛知県清須市西枇杷島町井天45 ヤマモリビル1F  
〒452-0006 tel:(052)509-2485 fax(052)509-2486

大阪営業所 大阪府大阪市港区市岡元町2-8-18 ワールドビル2F  
〒552-0002 tel:(06)6583-3310 fax(06)6853-3325